



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE Synergy イメージストリーマー 3.1 リリースノート

## 摘要

このリリースノートでは、HPE Synergy イメージストリーマー 3.1 リリースのベストプラクティス、既知の問題、および制限事項について説明します。

部品番号: 5200-2473  
発行: 2017 年 7 月  
版数: 1

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品、およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。Hewlett Packard Enterprise は本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から許諾を得る必要があります。米国政府の連邦調達規則である FAR 12.211 および 12.212 の規定に従って、コマーシャルコンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーションおよびコマーシャルアイテムのテクニカルデータ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダーが提供する標準使用許諾規定に基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクを使用すると、Hewlett Packard Enterprise Web サイト外に移動します。Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報は Hewlett Packard Enterprise の管理対象外であり、それらの情報について責任を負いかねますのでご了承ください。

# 目次

はじめに.....	5
本リリースでの新機能.....	6
このリリースでの修正.....	8
<b>既知の問題と制限.....</b>	<b>10</b>
既知の問題.....	10
3.0 からそれ以降のバージョンへのイメージストリーマーのアップデートが、ストレージ同期の問題により断続的に失敗する.....	10
イメージストリーマーの更新に成功した後、論理エンクロージャーの再作成が失敗してエラーメッセージが表示される.....	10
NIC カスタム属性 vlanid が展開されない.....	11
HPE OneView でのサービスコンソールアクセスの変更がイメージストリーマーに反映されない.....	12
アーティファクトがサーバープロファイルテンプレートによって使用されているとき、アーティファクトについての使用中の情報が表示されない.....	12
最近作成された展開プランが、HPE OneView の OS 展開サーバー画面からアクセスされるときに 404 エラーが表示される.....	13
イメージストリーマーユーザーインターフェイスにアクセスするのに複数のタブを使用した場合、ダッシュボードに最新の情報が反映されない.....	13
ダウンロードしたゴールドイメージに不正なファイル名がある.....	13
アプライアンスのアップグレード後のメンテナンス IP アドレスの欠落に関するアラート.....	14
文字&を含むプランスクリプトをコピーすると、展開が失敗したり、誤った展開に陥ったりする場合がある.....	14
制限事項.....	14
<b>ドキュメントに関する注意事項.....</b>	<b>16</b>
補足情報.....	16
<b>HPE Synergy の簡易化されたファームウェアとドライバーの配布.....</b>	<b>18</b>
<b>HPE Synergy のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料</b>	
.....	<b>19</b>
HPE Synergy のドキュメント.....	19
HPE Synergy 構成および互換性ガイド.....	19
HPE Synergy Frame Link Module User Guide.....	19
HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド.....	19
HPE OneView Global Dashboard.....	19
HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド.....	19
HPE Synergy イメージストリーマー GitHub.....	20
HPE Synergy Software Overview Guide.....	20

HPE Synergy ファームウェアアップデートの概要.....	20
HPE Synergy ファームウェアとドライバー更新のためのベストプラクティス.....	20
HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス.....	20
HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス.....	20
HPE Synergy 用語集.....	20
HPE Synergy のトラブルシューティング資料.....	20
HPE OneView でのトラブルシューティング.....	21
HPE Synergy トラブルシューティングガイド.....	21
Error Message Guide for HPE ProLiant Gen10 servers and HPE Synergy.....	21
HPE OneView および HPE OneView REST API スクリプティングヘルプ.....	21
HPE Synergy QuickSpecs.....	21
<b>HPE Synergy ドキュメントの概要 (ドキュメントマップ) .....</b>	<b>22</b>
<b>Web サイト.....</b>	<b>23</b>
<b>サポートと他のリソース.....</b>	<b>24</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	24
アップデートへのアクセス.....	24
カスタマーセルフリペア (CSR) .....	25
リモートサポート (HPE 通報サービス) .....	25
保証情報.....	25
規定に関する情報.....	25
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	26

# はじめに

HPE Synergy イメージストリーマーリリースノートは、HPE Synergy イメージストリーマーのリリース情報を提供するものであり、イメージストリーマーの管理インターフェイスを使用するユーザーを対象にしています。イメージストリーマー 3.1 リリースに関する次の情報が含まれます。

- 新機能
- 修正点
- 既知の問題と制限
- 補足情報

## リリース情報

イメージストリーマーを取り付けるには、HPE Synergy ファームウェア構成がイメージストリーマーのリリースセットに対応している必要があります。HPE Synergy リリースセットについて詳しくは、<http://www.hpe.com/downloads/Synergy> を参照してください。

このリリースでサポートされる HPE OneView のバージョンは 3.1 です。

# 本リリースでの新機能

## マルチエンクロージャー構成でのプライマリ展開アプライアンスの変更

### 3.1 リリースより前 :

- 現在のプライマリアプライアンスが故障または機能を停止した場合にのみプライマリ展開アプライアンスを変更できます。
- プライマリ展開アプライアンスを変更すると、古いプライマリアプライアンスを復活させて OS ボリュームを再び使用できるようにすることはできません。

### 3.1 リリース以降 :

- 現在のプライマリアプライアンスが機能を停止した場合にプライマリ展開アプライアンスを変更できます。
- 完全に機能しているプライマリアプライアンスがある場合でも、プライマリ展開アプライアンスを変更することができます。完全に機能しているプライマリアプライアンスを変更すると、そのプライマリアプライアンスはセカンダリ展開アプライアンスに変換され、引き続き OS ボリュームを使用できます。HPE OneView ユーザーインターフェイスの **OS 展開サーバー** 画面で新しく選択されたアプライアンスが新しいプライマリアプライアンスになります。
- プライマリ展開アプライアンスは何回でも変更できます。

プライマリ展開アプライアンスの変更についての詳細および手順は、*HPE OneView ヘルプ*を参照してください。

## 既存の論理エンクロージャーへのイメージストリーマーの無停止での追加

この機能により、コンピュータモジュールを停止させずに既存の論理エンクロージャーにイメージストリーマーを追加することができます。この機能では、以下の操作が可能です。

- 以前イメージストリーマーを持っていなかった構成で、既存の論理エンクロージャーにイメージストリーマーを追加する。
- 他の論理エンクロージャー内にイメージストリーマーを持つエンクロージャーグループ内の論理エンクロージャーにイメージストリーマーを追加する。3.1 リリースより前では、このような構成にイメージストリーマーアプライアンスを追加する必要がある場合、イメージストリーマーで構成されている論理エンクロージャーを最初に削除する必要があります。次に、エンクロージャーグループを編集して論理エンクロージャーを作成し、イメージストリーマーを持つように論理エンクロージャーを構成する必要があります。

既存の論理エンクロージャーにイメージストリーマーアプライアンスを追加する方法については、*HPE OneView ヘルプ*を参照してください。

## 工場提供アーティファクトバンドル

工場提供アーティファクトバンドルは、イメージストリーマーアプライアンスで利用できるアーティファクトバンドルです。新しいイメージストリーマーアプライアンスに対して、またはアプライアンスの工場出荷時リセット後に、基本アーティファクトバンドルとサポートアーティファクトバンドルがアプライアンスで作成されます。これらのアーティファクトバンドルは、イメージストリーマーユーザーインターフェイスを使用して、**アーティファクトバンドル**画面に表示できます。

これらのアーティファクトバンドルは読み取り専用であり、自動的に抽出されません。デフォルトのアーティファクトを使用するには、工場提供アーティファクトバンドルを抽出します。工場提供アーティファクトバンドルは、工場出荷時設定へのリセット操作の影響を受けないままになります。アプライアンスのアップグレード時に、アップグレードに工場提供アーティファクトバンドルの新しいバージョンが含まれている場合は、既存の工場提供アーティファクトバンドルが置き換えられます。

## サーバープロファイルの割り当てを変更したときの OS ボリュームの保持

3.1 リリースより前では、既存のサーバープロファイル内で OS 展開設定を編集するとき、現在の展開プランの割り当てを解除し、再割り当てして、再展開をトリガーする必要があります。3.1 リリースから、

一部の OS 展開設定を変更したときに OS ボリュームは保持されます。この機能により、サーバーハードウェアをサーバープロファイルに割り当てたり割り当て解除したりするたびに、OS ボリュームを再展開しなくてもよくなります。

HPE OneView ユーザーインターフェイスの**サーバープロファイルの編集**ダイアログは、サーバープロファイル内の OS 展開設定を変更したときに OS ボリュームのステータスを通知します。

### OS 展開プランがサーバープロファイルテンプレートに含まれる

OS 展開プランは HPE OneView のサーバープロファイルに加えて、サーバープロファイルテンプレートに含まれます。サーバープロファイルテンプレートについて詳しくは、*HPE OneView (HPE Synergy 用)* ヘルプを参照してください。

### プランスクリプトで利用できるサーバー iSCSI イニシエーターの詳細

最新のオペレーティングシステムは、UEFI ファームウェアインターフェイスから iSCSI イニシエーターの詳細を取得します。サーバープロファイルがブート用のコンピュートモジュールを構成するとき、これらの詳細はサーバーファームウェアに組み込まれ、ブート時にオペレーティングシステムから使用できます。次に、オペレーティングシステムは詳細情報を使用して、iSCSI OS ボリュームアクセスを構成します。

ただし、一部の従来のオペレーティングシステム（たとえば、RHEL 6.7）は、UEFI ファームウェアインターフェイスから iSCSI イニシエーターの詳細を取得できません。このようなシナリオでは、オペレーティングシステムはシステム属性を使用して、プランスクリプトから iSCSI イニシエーターの詳細を取得できます。個別設定中に、これらの iSCSI イニシエーターの詳細情報を使用して OS ボリュームアクセスが構成されます。

### 3.0 から 3.1 へのイメージストリーマーアプライアンスのアップデート

イメージストリーマーアプライアンスを 3.0 から 3.1 にアップデートできます。この機能によって、将来のアップデートが可能になります。アップデート手順とアップデートシナリオについて詳しくは、<https://www.hpe.com/info/synergy-imagestreamer-docs> から入手できる *HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ* および *HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド* を参照してください。

### 高度な管理仮想マシン (AMVM) 機能への更新

- ユーザーインターフェイスの**展開アプライアンス**画面には、AMVM のステータスおよび IPv4 アドレスに関する情報が表示されます。ユーザーインターフェイスで AMVM の**状態**を編集することによって、AMVM を起動または停止できます。
- 3.1 リリースから、AMVM にはプランスクリプトの実行のテストおよびデバッグに使用できる安全な `libguestfs` 環境があります。これにより、プランスクリプトをアプライアンス上で実際に実行する前に、隔離された環境内でテストすることができます。`libguestfs` については、<http://libguestfs.org/> を参照してください。

### プランスクリプトのログメッセージ

プランスクリプトにログメッセージを含めて、そのプランスクリプトの実行中またはゴールデンイメージのカスタマイズ中のエラーをサーバー管理者に通知することができます。このログメッセージは HPE OneView のサーバープロファイルのアクティビティに表示されます。詳しくは、<https://www.hpe.com/info/synergy-imagestreamer-docs> にある *HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ* および *HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド* を参照してください。

# このリリースでの修正

このリリースでは、3.0 リリースの次の既知の問題が修正されました。

## iSCSI イニシエーターがターゲットの検出に失敗したために OS の展開が失敗する

iSCSI イニシエーターがターゲットの検出に失敗し、111 エラーを返します。この失敗により、サーバープロファイル作成手順で OS 展開が失敗します。この問題は、3.1 リリースで修正されています。

## プランスクリプト、OS ビルドプラン、または展開プランの削除操作時に使用中エラーが発生する

50 以上のプランスクリプト、50 以上の OS ビルドプラン、または 50 以上の展開プランがアプライアンスにあって、アーティファクトを削除または編集しようとする、ユーザーインターフェイスでは、アーティファクトがサーバープロファイルによって使用されていない場合でも、使用されていると表示されます。アプライアンスでプランスクリプト、OS ビルドプラン、または展開プランが 50 に制限されることは、3.1 リリースで修正されています。

## アーティファクトバンドルの作成が予期しないエラーで失敗する

アーティファクトバンドルの 1 つ以上のアーティファクトの説明が 255 文字の長さを超えた場合、アーティファクトバンドルの作成は、次のエラーメッセージで失敗します。予期しないエラーが発生しました。3.1 リリースでは、アーティファクトの説明の長さは 1,000 文字に増加しました。

## プランスクリプトを追加した後、追加ボタンをクリックしてもステップの追加ダイアログが閉じない

アプライアンスに 50 以上のプランスクリプトがあるとき、追加ボタンを押してもステップの追加ダイアログが閉じません。アプライアンスでプランスクリプトが 50 に制限されることは、3.1 リリースで修正されています。

## OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトが含まれる場合、プランスクリプトが正しく実行されない

OS ビルドプランに 10 を超えるプランスクリプトが含まれる場合、プランスクリプトは間違った順番で実行され、手順 10 のプランスクリプトが実行されません。OS ビルドプランあたりのプランスクリプトの 10 の制限は、3.1 リリースで削除されています。

## イメージストリーマーのユーザーインターフェイスを使用したゴールデンイメージの作成および追加が失敗する

ゴールデンイメージ名に特殊文字が含まれる場合、イメージストリーマーのユーザーインターフェイスを使用したゴールデンイメージの作成および追加が失敗します。この問題は、3.1 リリースで修正されています。

## Google Chrome で、アーティファクトバンドルの作成時に展開プランを選択するためのドロップダウンメニューが動作しない場合がある

Google Chrome で、アーティファクトバンドルの作成時に展開プランを選択するためのドロップダウンメニューの配置が正しく表示されない場合があります。Google Chrome のドロップダウンメニューの配置は 3.1 リリースで修正されました。

## タイプが FQDN、ホスト名、または IPv4 アドレスのカスタム属性を編集しているときに正しくない検証メッセージが表示される

イメージストリーマーユーザーインターフェイスでタイプが FQDN、ホスト名、または IPv4 アドレスのカスタム属性のデフォルト値フィールドに無効な値を指定した場合、次の検証メッセージが表示されます。有効なホスト名または IP アドレスを入力してください。検証メッセージは 3.1 リリースで修正されました。



## OS ビルドプランからのプランスクリプトの削除が失敗する場合がある

プランスクリプトを削除するように OS ビルドプランを編集した場合、削除操作が失敗することがあります。この問題は、3.1 リリースで修正されています。

## AMVM を使用した OS ボリュームのマウントが失敗する

AMVM を使用して OS ボリュームをマウントする場合、OS ボリュームの構造に応じて、例である `./mountscript.sh` を変更する必要があります。この変更を行わない場合、`./mountscript.sh` スクリプトの実行が失敗します。この制限は 3.1 リリースで削除されています。代わりに、スクリプトへの入力として OS ボリュームのパーティション番号を指定する必要があります。

## 展開プランのプラン属性画面で OS ビルドプランのハイパーリンクが機能しない

イメージストリーマーのユーザーインターフェイスで、展開プランのプラン属性画面に、展開プランで使用できる OS ビルドプランへのハイパーリンクが含まれます。このリンクが機能しないのは、**プラン属性画面と OS ビルドプラン画面を連続的に数回切り替えた場合のみ**です。この問題は、3.1 リリースで修正されています。

以下のセキュリティ脆弱性は 3.1 リリースで修正されています。

## オンラインヘルプページにおけるリモート悪用に対する深刻な脆弱性

CVSS v3 仕様に基づく、ベーススコア 8.1 (AV:N/AC:L/PR:N/UI:R/S:U/C:H/I:H/A:N) を持つフィッシングおよびセッションハイジャック攻撃を引き起こしうるオンラインヘルプページのリモート悪用に対する深刻な脆弱性は修正されています。

# 既知の問題と制限

## 既知の問題

### 3.0 からそれ以降のバージョンへのイメージストリーマーのアップデートが、ストレージ同期の問題により断続的に失敗する

#### 症状

3.0 からそれ以降のバージョンへのイメージストリーマーのアップデートが、約 60 分間フリーズして失敗します。ユーザーインターフェイスのアクティビティ画面に、ストレージアップグレードの失敗に関する情報が表示されます。

#### 原因

更新の開始前にストレージ同期がフリーズするため、ストレージソフトウェアを更新できません。

この問題は断続的に発生することがあり、OS ボリュームおよびストレージに影響を及ぼすためダウンタイムを発生させることがあります。常にこのようなダウンタイムの可能性を考慮した後に、アップグレードを計画してください。

#### アクション

1. アップデートプロセスを再試行します。

アップデートプロセスを再試行すると問題が解決されることがあります。問題がまだ解決しない場合は、次の手順に進みます。

2. サポートダンプを取得して、認定サポート担当者に速やかに問い合わせます。サポートダンプはユーザーインターフェイスまたはメンテナンスコンソールを使用して作成できます。

サポートダンプを作成する方法については、*HPE Synergy* イメージストリーマーオンラインヘルプおよび *HPE Synergy* イメージストリーマーユーザーガイドを参照してください。

### イメージストリーマーの更新に成功した後、論理エンクロージャーの再作成が失敗してエラーメッセージが表示される

#### 症状

イメージストリーマー 3.0 から 3.1 に正しくアップデートされた後、論理エンクロージャーを削除して再作成すると、再作成が失敗して次のエラーメッセージが表示されます。ストレージクラスターの構成中にエラーが発生しました。

解決方法では、サポートダンプを取得した後、認定サポート担当者に連絡するよう指示されます。

---

#### 注記:

この問題は、新たに取り付けられたシステム上で論理エンクロージャーを削除して再作成した場合は発生しません。この問題は、アップデートの実行後に論理エンクロージャーを削除して再作成する場合にのみ発生します。

---

#### 解決方法 1

#### 原因

アップデートプロセスでは、ストレージソフトウェアはアップデートが進行中のパーティションに対してミラーパーティションを作成し、ミラーパーティションから起動するように grub を切り替えます。イメージストリーマーがストレージソフトウェアをマウントし、データ IP アドレスを変更したとき、アップ

グレードされたストレージソフトウェアの元のプライマリパーティションが変更されます。新しいミラーパーティションはこのデータ IP アドレスで更新されないため、この問題が発生します。

## アクション

1. イメージストリーマーおよび HPE OneView のサポートダンプを取得します。
2. ユーザーインターフェイスに表示されている解決方法に従い、認定サポート担当者に問い合わせてください。
3. この手順が該当するのは、この問題の解決を担当するサポート担当者です。
  - a. メンテナンスメニューを使用して、論理エンクロージャーで利用可能なイメージストリーマーノード上で次のコマンドを実行してサービスコンソールにログインします。/var/www/cgi-bin/rest\_framework/i3s/vsauninstallrun.sh

## 解決方法 2

### アクション

1. アプライアンスを工場出荷時設定にリセットして再挿入します。この操作により論理エンクロージャーが正常に作成されます。

## NIC カスタム属性 vlanid が展開されない

### 症状

展開について、イメージストリーマーユーザーインターフェイスのアクティビティ画面から利用可能な展開ログに、NIC カスタム属性 v`lanid` が展開されていないままであることが示されています。この問題は、選択されている IP 構成のタイプが DHCP で、ネットワークセットが使用中の場合にのみ発生します。

### 原因

OS 展開用のサーバープロファイルを次の設定で作成するとき、サーバープロファイルは展開プランに v`lanid` 属性を渡すことに失敗します。

- OS 展開の NIC 構成には、ネットワークセットの一部であるネットワークがあります。
- 選択された IP 構成タイプは DHCP です。

### アクション

1. NIC カスタム属性 v`lanid` を、プランスクリプトのネットワーク設定コマンドの汎用カスタム属性で置換してください。

汎用カスタム属性を使用すると、サーバープロファイルの作成ダイアログの OS 展開セクションにカスタム属性の一覧が表示されます。

たとえば、ESXi プランスクリプトの場合、下記を変更します。

```
esxcfg-vswitch vSwitch1 -v @ManagementNIC1.vlanid:0@ -p ManagementNetwork1
```

次の値を使用します。

```
esxcfg-vswitch vSwitch1 -v @ManagementNIC1vlanid:0@ -p ManagementNetwork1
```

ManagementNIC1vlanid は、サーバープロファイルの作成ダイアログの OS 展開セクションに表示される汎用カスタム属性です。

2. 対応する管理 NIC に関連付けられているネットワークの v`lanid` 値を指定します。
3. ネットワークセット内で構成する予定の各ネットワークについて、この操作を繰り返します。

# HPE OneView でのサービスコンソールアクセスの変更がイメージストリーマーに反映されない

## 症状

初回セットアップ時に、HPE OneView のサービスコンソールアクセス設定を無効にしました。その後、HPE OneView でサービスコンソールアクセス設定を有効にしましたが、この変更がイメージストリーマーに反映されません。イメージストリーマーではサービスコンソールアクセスは無効のままです。

## アクション

1. イメージストリーマーのサービスコンソールアクセス設定を有効または無効にするには、以下の REST API を使用します。PUT `https://{appl}/rest/appliance/settings/enableServiceAccess`

REST API コマンドについて詳しくは、イメージストリーマーユーザーインターフェイスのヘルプサイドメニューにある *REST API リファレンス* を参照してください。

# アーティファクトがサーバープロファイルテンプレートによって使用されているとき、アーティファクトについての使用中の情報が表示されない

## 症状

- サーバープロファイルテンプレートによって使用されているプランスクリプト、OS ビルドプラン、または OS 展開プランを編集するとき、次のようになります。
  - アーティファクトユーザーインターフェイス画面には、アーティファクトが使用中であることが表示されません。
  - アーティファクトを編集しようとするときに警告が表示されません。アーティファクトの編集後に **OK** をクリックすると、エラーが表示されます。
- サーバープロファイルテンプレートによって使用されているプランスクリプトを削除すると、削除操作が失敗します。ただし、プランスクリプトはサーバープロファイルテンプレートによって使用されているため削除できないというエラー通知は表示されません。
- サーバープロファイルテンプレートによって使用されている OS ビルドプランを削除すると、削除操作が失敗します。OS ビルドプランは OS 展開プランによって使用されているため削除できないというエラー通知が表示されます。ただし、サーバープロファイルテンプレートによって使用中の OS ビルドプランについての情報は、通知で提供されません。
- サーバープロファイルテンプレートによって使用されている OS 展開プランを削除すると、削除操作が失敗します。削除の確認ダイアログは削除操作が取り消されるまで消えません。

---

### 注記:

この問題は、イメージストリーマーユーザーインターフェイスを使用している場合にのみ発生します。REST API を使用する **編集** および **削除** 操作は、アーティファクトが使用中であるというエラーを返します。

---

## アクション

1. サーバープロファイルテンプレートによって使用されているプランスクリプト、OS ビルドプラン、または OS 展開プランを変更および削除しないでください。

## 最近作成された展開プランが、HPE OneView の OS 展開サーバー画面からアクセスされるときに 404 エラーが表示される

### 症状

最近作成された展開プランが、HPE OneView の OS 展開サーバー画面からアクセスされるときに 404 - not found エラーが表示されます。

### 原因

マルチエンクロージャーのセットアップで、すべてのセカンダリイメージストリーマーアプライアンスは、プライマリイメージストリーマーアプライアンスから 1 時間ごとにアーティファクトのスケジュールされたバックアップを取得します。この問題は、次の一連の処理を実行するときに発生します。

1. 2 つのスケジュールされたバックアップの間の展開プランを作成します。
2. 新しい展開プランを消費するサーバープロファイルは作成しません。
3. プライマリ展開アプライアンスを変更します。

新しいプライマリ展開アプライアンスは最後に作成された展開プランを含みません。

### アクション

1. プライマリ展開アプライアンスを変更する前に、アーティファクトに対するすべてのメジャーアップデートを保存するためにアーティファクトバンドルを常に作成します。

プライマリ展開アプライアンスを変更する前に、アーティファクトへのアップデートを保存しなかった場合、アーティファクトを再作成する必要があります。

2. ローカルコンピューターにアーティファクトバンドルをダウンロードします。
3. 新しいプライマリアプライアンスに正しく変更されたら、ダウンロードされたアーティファクトバンドルを新しいプライマリ展開アプライアンスにインポートして、アーティファクトを使用するために抽出します。

## イメージストリーマーユーザーインターフェイスにアクセスするのに複数のタブを使用した場合、ダッシュボードに最新の情報が反映されない

### 症状

ブラウザーのタブでダッシュボード画面を開き、別のブラウザータブ内でアーティファクトを作成した場合、ダッシュボード画面に、新しく作成されたアーティファクトが反映されません。この問題は、ご使用のブラウザーで複数のタブを使用してイメージストリーマーユーザーインターフェイスにアクセスした場合に発生します。

### アクション

1. ダッシュボード画面が開いているブラウザーのタブを更新します。
2. 手順 1 で問題が解決されない場合、ダッシュボード画面を閉じてから再び開きます。

## ダウンロードしたゴールドイメージに不正なファイル名がある

### 症状

ゴールドイメージをダウンロードするとき、ユーザーインターフェイスに表示される正しい名前を持つゴールドイメージが見つかりません。この問題は、日本語または簡体字中国語のユーザーインターフェイスを使用している場合にのみ発生します。

## 原因

ダブルバイトフォントは改行文字に変換され、ダウンロードしたファイルの名前は\_\_\_\_.zip または----.zip の形式になります。

## アクション

1. 最近ダウンロードしたゴールドイメージを見つけるには、ダウンロードしたゴールドイメージをタイムスタンプに基づいて検索してください。

## アプライアンスのアップグレード後のメンテナンス IP アドレスの欠落に関するアラート

### 症状

イメージストリーマーアプライアンスのアップグレード後に、**展開アプライアンス**画面に次の警告が表示されます。

**メンテナンス IP アドレスが見つかりません。**

このアラートは、メンテナンス IP アドレスがアプライアンスのアップグレード前に設定された場合でも表示されます。

### アクション

1. すべてのイメージストリーマーアプライアンスのメンテナンス IP アドレスが、管理ネットワークから到達可能かどうかを確認します。  
**展開アプライアンス**画面から**管理 IPv4 アドレス**および**管理 IPv6 アドレス**を取得することができます。
2. すべてのメンテナンス IP アドレスが到達可能な場合、**アクティビティ**画面を使用してアラートをクリアします。

## 文字&を含むプランスクリプトをコピーすると、展開が失敗したり、誤った展開になったりする場合がある

### 症状

文字&を含むプランスクリプトをコピーすると、展開が失敗したり、誤った展開になったりする場合がある。

### 原因

プランスクリプト内に存在する&文字はコピー操作時に&amp;で置き換えられます。

### アクション

1. **プランスクリプトのコピー**操作を実行した後、プランスクリプトを手動で確認し、&amp;を&で置き換えてください。

## 制限事項

イメージストリーマーアプライアンスの使用に関する制限事項を次に示します。

### マルチエンクロージャー構成でのプライマリ展開アプライアンスの変更

マルチエンクロージャー構成でプライマリ展開アプライアンスを変更するとき、論理エンクロージャーが設定されていない新しいプライマリ展開アプライアンスを選択できません。

## リソースへのラベルの追加

イメージストリーマーアプライアンス内のリソースにラベルを追加することはサポートされません。

## アーティファクトバンドルの抽出

Internet Explorer v11 では、アーティファクトバンドルの抽出はサポートされません。

## カスタム属性の命名規則

カスタム属性には一意の名前を使用します。複数のプランスクリプト内に同じ名前のいくつかのカスタム属性がある場合、一部のカスタム属性は対応する OS ビルドプランに表示されません。代わりに、OS ビルドプランに 1 つのカスタム属性のみが表示されます。OS ビルドプランでこのカスタム属性に対して指定された値は、カスタム属性値と見なされます。

## カスタム属性値の最大許容文字数

カスタム属性値の最大許容文字数は 100 です。

## リモートエンクロージャー内のイメージストリーマーアプライアンスの電源状態

リモートエンクロージャーにイメージストリーマーアプライアンスを配置する複数エンクロージャーのセットアップには、次の制限があります。

- イメージストリーマーアプライアンスの電源状態が HPE OneView に正しく反映されない場合があります。
- HPE OneView を使用してリモートのイメージストリーマーアプライアンスの電源をオンにする試みが失敗します。リモートのイメージストリーマーアプライアンスの電源投入はサポートされていません。

## プランスクリプト内の操作でデフォルト以外のディレクトリを使用した場合、OS の展開が失敗することがある

展開ごとに一意のデフォルトディレクトリ/tmp/user\_scratch/<directory\_name>が作成され、ホームディレクトリとして割り当てられます。プランスクリプトのすべてのアクションをこのディレクトリ内に制限してください。アプライアンス上の他のディレクトリを使用した場合、今後の OS 展開が失敗することがあります。

## プライマリアプライアンスが利用できない場合は構成変更を実行できない

プライマリアプライアンスが機能していない場合、アプライアンスの交換などの構成変更を実行しないでください。

## スタンバイアプライアンスを取り外してから取り付け直したとき、デフォルトでは電源がオフの状態になる

スタンバイアプライアンスを取り外してから取り付け直したとき、デフォルトでは一定時間の経過後に電源オフになります。HPE OneView のエンクロージャーページでアプライアンスの電源を手動で入れて、アプライアンスを取り付け直す必要があります。

# ドキュメントに関する注意事項

この章では、*HPE Synergy* イメージストリーマーオンラインヘルプの英語版に記載されている、ローカライズ版には含まれていない内容についての情報を含む、ドキュメントの補足情報を提供します。

## 補足情報

### HPE Synergy イメージストリーマー 3.1 オンラインヘルプ

以下の情報は、オンラインヘルプの公開後のアップデートです。

- @\_Initiator1.gateway@および@\_Initiator2.gateway@システム属性は、オンラインヘルプでサポートされていると記載されています。ただし、これらはサポートされません。そのため、アーティファクトに提供されているプランスクリプトの例にあるこれらのシステム属性の使用法は無視してください。プランスクリプトについて：プランスクリプトの例。

以下の情報は、HPE Synergy イメージストリーマー 3.1 オンラインヘルプに記載されていません。

- NIC カスタム属性の mac パラメーターは必須です。
- アプライアンスのアップデート操作を実行する前に、<http://www.hpe.com/downloads/synergy> にあるイメージストリーマーの適切なリリースセットからローカルコンピューターにアップデートファイルをダウンロードする必要があります。

以下は英語版オンラインヘルプの更新であり、ローカライズされたバージョンでは使用できません。

- ユーザーインターフェイスの操作：ヘルプサイドバー：アプライアンスのステータスの画面：リセット、内容は次のように更新されます。

#### ❗ 重要:

アプライアンスが高可用性状態になっているとき、工場出荷時設定へのリセット操作を実行することはできません。アプライアンスに対して工場出荷時設定へのリセット操作を実行するには、事前にスタンバイアプライアンスを取り外す必要があります。スタンバイアプライアンスは、取り外し操作の一環として工場出荷時設定にリセットされます。

工場出荷時リセット操作はイメージストリーマーユーザーインターフェイスからは使用できません。メンテナンスコンソールを使用して工場出荷時設定へのリセット操作を実行できます。

最新のバックアップファイルからアプライアンスをリストアしない限り、フレームリンクモジュールのすべてのモニターポートから UI を使用できません。そうしない場合は、フレームリンクモジュールの工場出荷時設定へのリセットも実行する必要があります。

イメージストリーマーアプライアンスがオフラインで使用できない、または手動のアクションを必要としていることがメンテナンスコンソールに示されている場合、*HPE Synergy* イメージストリーマーユーザーガイドのトラブルシューティングを参照してください。

- ユーザーインターフェイスの操作：通知領域は、通知がイメージストリーマーユーザーインターフェイスに表示される方法を示すイメージが追加されます。
- ユーザーインターフェイスの操作：ヘルプサイドバーは、イメージストリーマーユーザーインターフェイスでヘルプサイドバーのイメージが追加されます。
- ユーザーインターフェイスの操作：グラフィカルユーザーインターフェイスについてで、画面の配置はイメージストリーマー固有のイメージと説明で更新されます。
- ユーザーインターフェイスの操作：アプライアンスからのログアウトで、以下の手順が既存の手順に追加されます。
  1. HPE OneView ダッシュボードに移動します。
- ユーザーインターフェイスの操作：マップビュー画面の詳細で、マップビューはイメージストリーマー固有のイメージと説明で更新されます。



最新のコンテンツについては英語版のイメージストリーマーオンラインヘルプを参照してください。英語版オンラインヘルプは、イメージストリーマーユーザーインターフェイスまたはダウンロード可能なヘルプシステムファイル、または **Hewlett Packard Enterprise Information Library** から *HPE Synergy* イメージストリーマーヘルプ、REST API スクリプティングヘルプ、およびAPI リファレンス（ダウンロード）を使用してアクセスできます。

# HPE Synergy の簡易化されたファームウェアとドライバーの配布

HPE Synergy では、ファームウェアとドライバーのアップデートをリリースセット経由でリリースします。ファームウェアとドライバーのアップデートをこの方法で行うと、システムのアップデートをより簡単に行うことができます。これは、他のバージョンと連携するのはどのバージョンか、また特定の HPE Synergy システムに適用するのはどのホットフィックスかを判断する必要がないためです。

リリースセットは <http://www.hpe.com/downloads/synergy> でダウンロードされます。各リリースセットには、リリースセットがダウンロードサイトに掲載された日付が付いています。

各リリースセットには、HPE Synergy のリリースセットとして認定され、リリースされた HPE Synergy のファームウェアとドライバーが含まれます。これらのリリースセットには、以下が含まれます。

- HPE OneView を含む HPE Synergy コンポーザー FW バンドル
  - アップデートバンドルまたはイメージの再構築ファイルを含みます。
- HPE Synergy カスタム SPP バンドル
  - HPE Synergy に合わせて作成された完全 SPP のサブセットです。
  - HPE Synergy ソリューションに適用するすべてのホットフィックスを含みます。
- HPE イメージストリーマー FW バンドル
  - アップデートバンドルまたはイメージの再構築ファイルを含みます。
- SPP に含まれていない追加オプションに適したファームウェアバージョンへのリンク。

各リリースセットは、すべてのコンポーネントのバージョンが連携して動作することの確認のためにテストされています。HPE Synergy システムは、少なくとも 12 ヶ月毎に最新のリリースセットでアップデートすることをお勧めします。

# HPE Synergy のドキュメントおよびトラブルシューティングの資料

## HPE Synergy のドキュメント

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) はタスクベースのレポジトリです。インストール手順、ユーザーガイド、メンテナンスとサービスガイド、ベストプラクティス、およびその他のリソースへのリンクが含まれています。この Web サイトを使用して、次のような最新のドキュメントを入手してください。

- HPE Synergy テクノロジーについての学習
- HPE Synergy のインストールおよびケーブル接続
- HPE Synergy コンポーネントの更新
- HPE Synergy の使用および管理
- HPE Synergy のトラブルシューティング

## HPE Synergy 構成および互換性ガイド

*HPE Synergy 構成および互換性ガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy 管理とファブリックアーキテクチャーの概要、詳細なハードウェアコンポーネントの識別および構成、およびケーブルの接続例が示されています。

## HPE Synergy Frame Link Module User Guide

*HPE Synergy Frame Link Module User Guide* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。本ガイドでは、フレームリンクモジュールの管理、構成、およびセキュリティについて説明します。

## HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド

*HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報が示されています。

## HPE OneView Global Dashboard

HPE OneView Global Dashboard は、HPE OneView によって複数のプラットフォームとデータセンターサイト間で管理される、ヘルス、アラート処理、およびキーリソースの統合ビューを提供します。*HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE OneView Global Dashboard のインストール、構成、ナビゲーション、およびトラブルシューティングについて説明します。

## HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド

*HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。このユーザーガイドでは、イメージストリーマーを使用した OS 展開プロセス、イメージストリーマーの機能、およびイメージストリーマーアーティファクトの目的とライフサイクルについて説明します。また、認証、権限、およびイメージストリーマーのトラブルシューティングに関する情報も含まれます。

## HPE Synergy イメージストリーマー GitHub

HPE Synergy イメージストリーマー GitHub レポジトリ ([github.com/HewlettPackard](https://github.com/HewlettPackard)) には、サンプルアーティファクトと、サンプルアーティファクトの使用法に関するドキュメントが含まれます。また、イメージストリーマーを使用して実行できる展開手順について説明するテクニカルホワイトペーパーも含まれます。

## HPE Synergy Software Overview Guide

*HPE Synergy Software Overview Guide* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy をサポートするさまざまなソフトウェアおよび構成ユーティリティの概要と詳細な参考資料について説明します。このガイドは、タスクベースであり、かつ以下について利用可能な、サポートされるすべてのソフトウェアおよび構成ユーティリティに関するドキュメントとリソースについて説明しています。

- HPE Synergy のセットアップと構成
- OS の展開
- ファームウェアの更新
- トラブルシューティング
- リモートサポート (HPE 通報サービス)

## HPE Synergy ファームウェアアップデートの概要

*HPE Synergy ファームウェアアップデートの概要* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。本書では、HPE Synergy のファームウェアをアップデートする方法について説明します。

## HPE Synergy ファームウェアとドライバー更新のためのベストプラクティス

*HPE Synergy ファームウェアとドライバー更新のためのベストプラクティス* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE OneView が提供する HPE Synergy コンポーザーを介してファームウェアおよびドライバーを更新するための推奨のベストプラクティスに関する情報が記載されています。

## HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス

*HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE OneView のソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

## HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス

*HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy イメージストリーマーのソフトウェアおよびファームウェアの最新の要件、サポートされるハードウェア、および構成の上限を維持します。

## HPE Synergy 用語集

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) 内の *HPE Synergy 用語集* では、HPE Synergy に関連する一般的な用語を定義します。

## HPE Synergy のトラブルシューティング資料

HPE Synergy トラブルシューティング資料は、HPE OneView 内および Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。

## HPE OneView でのトラブルシューティング

HPE OneView グラフィカルユーザーインターフェイスには、HPE OneView 内のトラブルシューティングのための、アラート通知およびオプションが含まれています。UI は、リソースのステータスとメッセージの潜在的な問題の解決を示す色の付いたアイコンを含む、HPE Synergy コンポーネントの複数のビューを示します。

検出されたすべての HPE Synergy ハードウェアのステータスをすばやく表示するには、エンクロージャービューおよびマップビューも使用できます。

## HPE Synergy トラブルシューティングガイド

*HPE Synergy トラブルシューティングガイド*は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方に対し、一般的な問題の解決のための情報、障害の分離と識別のための手順、問題の解決、および保守を提供します。

## Error Message Guide for HPE ProLiant Gen10 servers and HPE Synergy

*Error Message Guide for HPE ProLiant Gen10 servers and HPE Synergy* は、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。HPE Synergy ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方で受け取った特定のエラーメッセージに関連する、一般的な問題を解決するための情報を提供します。

## HPE OneView および HPE OneView REST API スクリプティングヘルプ

*HPE OneView ヘルプ*、*HPE OneView REST API スクリプティングヘルプ*、および *HPE OneView API リファレンス* は、HPE OneView ユーザーインターフェイス内で利用できる、アクセスが容易な組み込みのオンラインヘルプです。これらのヘルプファイルには、HPE Synergy 内の一般的な問題、および問題のトラブルシューティング手順と例への「詳細情報」リンクが含まれています。

ヘルプファイルは、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>) から入手できます。

## HPE Synergy QuickSpecs

HPE Synergy には、システムの仕様のほか、個々の製品およびコンポーネントの仕様があります。仕様の完全な情報については、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<http://www.hpe.com/info/qs>) から入手できる HPE Synergy および個々の HPE Synergy 製品の QuickSpecs を参照してください。

# HPE Synergy ドキュメントの概要 (ドキュメントマップ)

<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>

## プランニング

- HPE Synergy 12000 Frame Site Planning Guide
- HPE Synergy 構成および互換性ガイド
- HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス
- HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス
- Setup Overview for HPE Synergy
- HPE Synergy Software Overview Guide

## ハードウェアの取り付け

- HPE Synergy はじめに (フレームに付属)
- HPE Synergy 12000 フレームセットアップインストールガイド
- HPE ラックレールインストール手順 HPE Synergy 12000 フレーム用 (フレームに付属)
- HPE Synergy 12000 Frame Rack Template (フレームに付属)
- フードラベル
- ユーザーガイド類
- HPE Synergy Cabling Interactive Guide
- HPE OneView (HPE Synergy 用) ヘルプ — ハードウェアセットアップ

## 管理および監視の構成

- HPE OneView (HPE Synergy 用) ヘルプ
- HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド
- HPE OneView API Reference for HPE Synergy
- HPE OneView REST API スクリプティングヘルプ (HPE Synergy 用)
- ユーザーガイド

## 管理

- HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド
- HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ
- HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド
- HPE Synergy イメージストリーマーAPI リファレンス
- HPE Synergy イメージストリーマー展開ワークフロー
- HPE Synergy Frame Link Module User Guide

## 監視

- HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド
- HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド

## メンテナンス

- Product maintenance and service guides
- HPE Synergy ファームウェアとドライバー更新のためのベストプラクティス
- HPE OneView (HPE Synergy 用) ヘルプ
- HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド
- HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide for HPE Synergy Composer and HPE Synergy Image Streamer

## トラブルシューティング

- HPE OneView アラートの詳細
- HPE Synergy トラブルシューティングガイド
- Error Message Guide for HPE ProLiant Gen10 servers and HPE Synergy
- Integrated Management Log Messages and Troubleshooting Guide for HPE ProLiant Gen10 and HPE Synergy
- HPE OneView API Reference for HPE Synergy
- HPE Synergy イメージストリーマーAPI リファレンス

# Web サイト

## 全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide の連絡先

<http://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<http://www.hpe.com/support/e-updates>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

カスタマーセルフリペア

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

## 製品固有の Web サイト

HPE Synergy イメージストリーマーのドキュメント

<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>

HPE Synergy のドキュメント

<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>

HPE イメージストリーマー Github

<https://github.com/HewlettPackard/image-streamer-tools>

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

### Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

### ❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。



## カスタマーセルフリペア（CSR）

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア（CSR）プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

### リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

#### HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

#### HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

#### HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

#### HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

## 保証情報

ご使用の製品の保証またはサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報に関するドキュメントを確認するには、「エンタープライズの安全性、規制への適合」の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

### 追加保証情報

#### HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

#### HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

#### HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

#### HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当（[docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)）へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。